

# 悠游たより 心游たより

第254号  
令和5年

2月

発行 新居浜生涯学習大学

〒792-0023

新居浜市繁本町 8-65

電話・FAX(0897) 33-2991

メール n-daigaku@city.niihama.lg.jp



## 年頭に思うこと ころの依り代を大切に

今年の正月は慌ただしく、悲しみのうちに過ぎていった。元旦の夕方には最大震度7の能登半島地震が発生した。二百人を超える方々がお亡くなりになり、多くの家屋が倒壊するという甚大な被害を生んだ。今なお、多くの避難者が避難所生活を送り、厳寒の能登で不安な生活を強いられている。一刻も早く、安心できる生活に戻ることができることを心から願い、私たちに出来る支援に努めていきたい。二日には羽田空港で航空機が衝突炎上する事故が発生した。旅客に死者はいなかったが、能登半島地震の支援に向かっていた海上保安庁の乗員4名が犠牲となった。まさかの出来事で、大きな不安の中での一年の幕が開けた。

新年早々、悲しい知らせである。年末の12月21日に私たちの生涯学習大学の学長も務めていただいていた讃岐 幸治先生がご逝去された。心よりご冥福を祈りたい。讃岐先生にはずっと生涯学習大学のことを気に掛けていただいた。折に触れ講義もいただき、今年度も10月14日に「林住期を心豊かに生きる」の最終回で一緒にすることを楽しみにしていたのだが、そのひと月ほど前に電話をいただき「今回は、あんた頼むわ。」とさみしそうに告げられた。それが先生と交わした最後の言葉になってしまった。

先生はよく「新居浜生涯学習大学は、市民が自分達のチカラで企画運営していることが素晴らしい。全国的に見ても数少ないものだ。」と褒めてくださった。「まなびすとの活動を大事にせないかん。」とも語っていた。先生は自己紹介の枕詞に「姓は讃岐、生まれは薩摩、手抜き幸治と申します。」と冗談口調でユーモアたっぷりによく言っていた。学者らしくなく、気取らず飄々と場を和ませてくださった。周囲には自然と人が集まり、共に支え合う仕組みが生まれていた。独特の求心力があったのだなと改めて思う。

“手抜き幸治先生”という存在は、湖を華麗に泳ぐ白鳥（自分では鴨だと云うかも）だった。涼しい顔をしながら、水面下では一所懸命に水をかく努力が大事だと無言で教えていた。社会教育は何でもできるから自力でやってしまうのが最善ではない。自分一人でもできる時でも、誰かのチカラを借り、他力を集めて、みんなの手でやることにこそ値打ちがあるということ、手を替え、品を替え、出来の悪い弟子達にお手本を示してくれていたのだろう。

不語似無憂（語らざれば、憂いなきに似たり）という言葉がある。讃岐先生は決して多くを語らなかった。でも沢山のことを考えさせて下さった。今も多くの思い出が心のタンスに残っているが、普段それらは記憶の奥に眠っている。ある人は、それを呼び起こしてくれるものを“依り代”と呼んでいる。過去から現在、そして未来に生きている私たちにとって大事なことは、来し方を振り返り、行く末を見ていく姿勢なのだろう。大事な時に、過去の失敗や教訓を呼び起こしてくれる“依り代”をこれからも大事にしていきたいと思う新年だった。 合掌

(文責 関)

# 令和6年度生涯学習大学の新規講座ご紹介

平成3年にスタートした生涯学習大学は今年で33歳になります。人生百年時代と言われる今、持続可能な社会の実現、ウェルビーイングの獲得、そして新しい学びへの適応の三つの柱を掲げて学習を充実させてまいります。

今年のキャッチフレーズとして、以下の三点を提案したいと思います。



- 1 “楽しさ”を追求する学び…自分が楽しいと実感できるよう多様な学びを提供します
- 2 “役に立つ”学び…知らなかったと後で悔やまない、誰一人取り残されないように
- 3 “共に創る”学び…学びの成果を活かして、新しい学びや活動を生み出す

ここでは、新年度の新しい内容の講座をご紹介します。

- ① てつがくカフェ テーブル囲み、お菓子をつまみながら和やかに真剣に対話します。
- ② 賢い生活者になるための講座 日常生活の悩みや課題を解決しましょう。
- ③ 新しい時代の生涯学習 あなたも大学生になれる放送大学について学びます。
- ④ これからのまちづくりを学ぼう 各地の特色ある実践事例から学びます。
- ⑤ 子ども達への日本語教育指導者養成講座 外国人の子ども達に日本語をプレゼント。
- ⑥ 新幹線の父 十河信二の人生 郷土の先人 十河信二の波乱万丈の人生を学びます。
- ⑦ 大人の絵本セラピー 大人も絵本で心の平安を取り戻してみましよう。
- ⑧ ハングル講座 すぐお隣の国、韓国の言葉や文化を学んでみましよう。
- ⑨ 健康ライフ 身体を動かしながら、健康チェックしてみませんか。
- ⑩ メンズキッチン 男性だからできる料理のテクニックを習得してみませんか。
- ⑪ 大人のマナー講座 西洋料理を食べながら、文化の奥深さとマナーを学びます。
- ⑫ 暮らしに生かす筆ペン講座 様々な場面で筆が使えたら、そんな悩みの解消に。
- ⑬ 学んでマナビィ これまでとは違う、新しい挑戦ジャンルが増えています！



募集期間は、3月1日（金）から3月22日（金）までです。

新しい講座内容を記載した冊子は、3月1日（金）から生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、公民館等でお配りします。

HPにも掲載されます。

令和6年度も楽しく、一緒に学びましよう。  
皆様のご参加、心よりお待ちしております。





## 「太郎」という名の女の子

まなびすと 高橋 資芳

私は幼い頃から、ワンちゃん、ニャンちゃんが大好きでペットとしても飼っていました。温泉も大好きで、大阪に住んでいた頃も、土・日が休みの時はいつも朝6時頃から11時頃迄朝風呂に行っていました。

No.34  
私の生涯学習

この日も朝風呂に行くため、駐車場へ車を取りに行こうと家を出ました。100mほどの処にあった農家の納屋へ通りかかると、子犬がいきなり飛び出してきました。その子犬は「この人と離れたら生きていけない」といった感じで、私の足元にもつれながら付いてきて離れません。仕方がないので私はその子犬を抱っこして家まで引き返しました。呼鈴を押し、出てきた妻と娘にその子犬を渡し、朝ご飯でも食べさせるように言って、再び銭湯へ出かけました。



太郎は、最初はぶち犬でしたが成長すると真っ白になりました

この日もいつも通り11時頃に自宅へ帰りました。するとなんとあの子犬は、ずっと前から高橋家の飼い犬であったような雰囲気、玄関に座って私を迎えてくれたのです。当時は借家住まいでしたが、私はこの子犬を飼うことを大家さんに相談してみる気持ちになりました。そして娘には、子犬の名前をつけるよう頼みました。娘は一日がかりで考えた末、子犬を「太郎」と命名しました。無事名前も決まり、大家さんの了解も得て、「太郎」は我が家の一員になったのです。

ある日、新聞屋さんがやって来ました。彼も犬好きで「太郎」をあやしてくれました。「ワンちゃんの名前を教えて」と聞かれたので「太郎です」と言ったところ「え！」と驚いたような声を出して、「本当に太郎ちゃん？」と聞いてきました。私が戸惑っていると「このワンちゃんは女の子ですよ」と言いました。驚いて「本当ですか」と聞くと「間違いなく女の子ですよ」と返答されました。改名も考えましたが、何度「花子」と呼んでも全く無視、「太郎」と呼ぶと即座に反応するので、高橋家のワンちゃんは「太郎」という名前の女の子になったのです。

私が日向ぼっこをしていると「太郎」は傍らにいつも座っていました。そんな長閑なひと時を懐かしく思い出します。新居浜に戻る時に「太郎」は奈良の知人の家族になりました。「太郎」の健やかな老後を祈りながら、南の四国山地の雪景色を眺めています。



# 講座カレンダー



📅 予定のご確認を...

※警報や災害・講師の都合などで日程を変更することがあります。

日	曜	講座名	回	テーマ	時間	場所
6	水	◎新・雑談しま専科	10	雑談パート⑦	9:30	生涯学習センター研修室
8	金	野鳥観察初級	4	国領川河口と沢津探鳥会	9:00	沢津漁港周辺
12	火	市内の文化財★追加	4	明正寺から塩田遺跡へ	9:30	現地
19	火	大人の日本史★追加	5	上杉謙信と武田信玄の相克	13:30	生涯学習センター研修室

※◎がついている講座は聴講可能講座です。

今年度の講座も残り少なくなってきました。たくさんのご参加ありがとうございました。  
来年度もいろいろな講座を予定しております。皆様のご応募お待ちしております。



## 令和6年度受講生募集のお知らせ



### 受付期間

3月1日(金)～3月22日(金)



### 申込方法

受講申込書(【募集案内】冊子の最終ページ)に、必要事項を記入の上、受付場所へご提出ください。

※メール、FAX、郵送での申込は、生涯学習センターに直接お送りください。

※申込多数の場合は、抽選となります。



### お問合せ

新居浜市生涯学習センター

新居浜市繁本町8-65  
(市民文化センター本館2階)  
【TEL・FAX】(0897)33-2991

【メール】n-daigaku@city.niihama.lg.jp



### ～受付場所～

- ★生涯学習センター
- ★高齢者生きがい創造学園
- ★新居浜市役所  
(5階社会教育課・上部支所・川東支所)
- ★市内各公民館・地域交流センター・大島交流センター

